

F No. 0・6・0 (甲)

令和3年2月18日

秦野商工会議所
会頭 佐野 友保 様
秦野商工会議所工業部会
部会長 太田 光昭 様

秦野市議会議員 今 井 実



議会報告会に係る本市議会への御意見・御要望等について (回答)

向春の候 貴団体におかれましては、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃より本市議会の取組に対し、多大なる御理解、御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、御多忙の中、令和3年1月4日付けで、本市議会への御意見・御要望等を賜り、重ねて御礼申し上げます。

貴団体から賜りました御意見・御要望等につきましては、環境都市常任委員会を中心に、本市議会議員で協議を重ね、別紙のとおり回答書を作成いたしましたので、御高覧いただければ幸いです。

今後、貴団体のますますの御発展と御多幸をお祈りするとともに、議会活動や市政に対し、引き続き御指導御鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

(お問い合わせ先)

秦野市議会議員 環境都市常任委員会 委員長 横山 むらさき

(事務担当)

秦野市議会 議会局 議事政策課 政策調査担当 廣田 達也

直通電話： 0463-82-9652

ファクス： 0463-84-2299

回 答 書

秦野商工会議所工業部会 御中

秦野市議会環境都市常任委員会

No.	意見・要望内容	回 答
1	<p>インフルエンザ予防接種について、事業所でも接種の補助をしているが、秦野市内の医療機関でも在庫切れ、受付終了しているところが多く見られ、受けたくても受けられない状況だった。令和3年度は、在庫を確保する上での行政の支援をお願いしたい。</p>	<p>インフルエンザワクチンにつきましては、毎年、厚生労働省がワクチンの製造予定量等を設定しています。各医療機関は、前年度のワクチンの使用実績を踏まえて、製薬メーカーに予約、注文を行い、注文を受けた製薬メーカーは、医療機関の在庫などを確認しながら、地域間等の所在融通を積極的に行って、ワクチンの偏在が起らないように配慮することになっています。このような仕組みから、市としてワクチンの確保に直接関わることができませんが、市に対しては関係機関への働きかけを行うよう、依頼いたします。</p>
2	<p>新型コロナウイルス感染症に伴い、市民や市内企業に勤務する社員のPCR検査の実施。または、その費用補助をお願いしたい。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症に係るPCR検査につきましては、行政検査や一部の医療機関等への負担の増加につながりかねないことから、現時点では、まず、県が整備する、症状がある方や濃厚接触者など、感染リスクが高い場合の検査体制の確保に市として協力していくとのこととです。</p>
3	<p>新型コロナウイルス感染症に伴い、令和3年から実施されるワクチン接種が混乱なく、速やかに接種できるような体制整備をお願いいたします。</p>	<p>新型コロナウイルスワクチンの接種体制の整備につきましては、国が示す実施要領に基づき、医療従事者や高齢者等から優先的に接種を開始します。以降、一般の方への接種となりますが、混乱のないような体制整備を行うよう、市に対して働きかけを行います。</p>

No.	意見・要望内容	回 答
4	<p>秦野市の一番のチャンスは、第二東名の開通だと思っている。但し、昨今の新規進出状況を見ると物流倉庫が多く、近隣企業の受注や雇用創出には繋がっていないと思われる。今後の開発においてはその辺りも留意願いたい。</p>	<p>本市の企業活動の活性化や物流の効率化といった産業面への効果が期待される新東名高速道路が、令和3年度内に伊勢原大山インターチェンジから（仮称）秦野インターチェンジまで開通する見込みであり、本市にとっては千載一遇のチャンスであります。</p>
5	<p>企業誘致において、本社機能を持った企業を誘致できれば、市内中小企業の受注にも繋がるとと思われる。</p>	<p>このような状況の中、平成27年度に策定し、本市が展開すべき工業振興施策の方向性や指針を示した「秦野市工業振興基本計画」について、計画の見直し時期になりました。貴会も参加されている策定懇話会において、今後、このチャンスを生かすための計画内容について議論がされていくものと思われま</p>
6	<p>日本の製造業を支える中小企業の振興に特に配慮願いたい。</p>	<p>す。そこで、市議会としては、次の2点について市執行部に要望いたします。</p>
7	<p>雇用面において、国は企業側にその負担を押し付けているような気がする。適材適所への転職などをもっとしやすくしていただきたい。</p>	<p>① 企業誘致に当たり、庁内横断的に連携することはもちろんのこと、貴会を含めた秦野商工会議所や金融機関等と連携し、本市の地域特性を活かした企業誘致を進めること。</p>
8	<p>工業振興を考える上で、コロナ禍を意識することなく長期展望が必要であり、第二東名を考えた場合、新東名開通後、第一東名が使われなくなるのでは意味がない。西大竹、戸川の両地区の魅力ある振興計画を立てていただきたい。</p> <p>また、マスメディアにも認知されている「秦野の名水」、「丹沢の山並み」、「ベッドタウン」という背景や地の利を考えた工業振興計画を立てていただきたい。</p>	<p>② コロナ禍で対応に苦慮されている状況下において、市内企業活性化のため、受注機会の確保が社会経済情勢に合わせて柔軟に図られるよう、秦野市工業振興基本計画に盛り込み、事業の実現に向けて取り組むこと。</p>